



【特集】就職活動に役立つ図書館の有効活用 就活に「図書館のすすめ」

図書館は学生の皆さんの学習や研究をサポートしていますが、
就職活動に役立つ情報もたくさん持っています。
情報収集とその活用は、就職活動においてとても大切な要素です。
ここで紹介する情報などを活用して、就職活動を実のあるものにしましょう。

① 働くとは？

まずは“働く”について考えよう

就職活動を進めるにあたっては、自分にとって“働く”とはどういうことかを考える必要があります。キャリア支援課が開催するガイダンスなどの様々な就活イベントに参加したり、インターンシップへの参加、家族や先輩からのお話などを通して、自分にとっての“働く”ことの意味をよく考えて、就職活動に臨んでください。

あわせて、「自己分析」という作業を進めておく必要があります。就職活動における自己分析とは、自分のこれまでの人生や考え方を振り返り整理することによって、長所と短所を理解し、さらに業界や企業選びの基準に繋がる自分なりの価値観を明らかにすることです。自己分析をしっかり行っておくことで、志望業界や企業を絞りやすくなりますし、何よりもエントリーシートや面接でアピールするセールスポイントを強力なものにすることができます。

“働く”ことについて考えたり、自己分析のために役に立つ本はたくさんあります。この2点は、手をつけるのに早すぎることはありません。大学生活の早いうちから、本などを通して意識を高め、来るべき就活に備えましょう！

例えばこんな本がオススメです。



学生のための
キャリアデザイン入門

渡辺峻、伊藤健市編著
名図開架 377.9:W46
豊図開架 377.9:W46



ある就活
紗希と翔と探す充実した
仕事にたどり着く方法

神保紀秀、
採用学プロジェクト編著
名図開架 377.9:J52



気持ちよく働ける
22歳からの仕事術

金児昭著
名図文庫 159:Ka53
豊図文庫 159:Ka53

② 知る

業界・企業選びが重要！

何といっても就活の重要なポイントになるのは、志望業界・企業選びです。自分の人生の岐路になると言っても過言ではありません。進路希望が明確に決まっていればいいのですが、そうではない場合の方が多くでしょう。とにかく、早い段階から様々な業界や企業の情報を仕入れ、自己分析の結果、明らかになった価値観などと照らし合わせて、徐々に志望業界・企業を絞り込んでいくことが必要です。

絞り込む事ができれば、次に必要なのは、その業界・企業に関する研究です。志望業界・企業に関する情報をできるだけ深く収集し、面接対策をたてておく必要があります。場合によっては、関連業界や異業界、ライバル業界に関する知識も、選考において役立つこともあります。すなわち、情報の収集と活用がもっとも必要となるのが、この段階なのです。

情報を収集するには、いろんな方法があります。企業の説明会や就職展などに参加したり、OB訪問を積極的に行うことも重要です。しかし日ごろから、インターネットや本、雑誌、新聞などを通して情報収集に努めることが、必ず自分の力となり、選考において役に立ってきます。

図書館には、皆さんの業界・企業研究に役立つ資料がたくさんあります。大いに利用してください。

図書館で読むことができる、業界・企業研究に役立つ資料の一部を紹介します。

新聞

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、
日本経済新聞、日経流通新聞、
中部経済新聞etc.

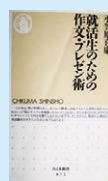
雑誌

週刊エコノミスト、週刊東洋経済、
週刊ダイヤモンド、月刊金融ジャーナル、
ジュリスト



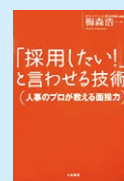
名古屋図書館 新聞コーナー

そのほかにも、エントリーシートの作成や面接対策に役立つ本、就活全般に関して書かれた本もたくさんあります。就活を乗り切るテクニックが身に付いたり、気持ちよくなったりのみならず、図書館を訪れて手にとってみましょう。



就活生のための作文・
プレゼン術

小笠原喜康著
名図開架 816.5:O22
豊図文庫 816.5:O22



「採用したい」と言わせる技術：
人事のプロが教える面接力

梅森浩一著
名図開架 377.9:U71



いま、働くということ

橋本俊昭著
豊図開架 366.04:Ta13



3

集める

情報収集を効率的に

新聞や雑誌記事から、自分に必要な情報だけを効率的に収集する方法があります。データベースの活用です。

本学図書館では、教育・研究に役立てるために多くのデータベースを購入または契約しており、学内ネットワークや図書館設置PCから利用することができますが、その中に就活に大いに役立つものがいくつかあります。

例えば「日経BP記事検索サービス」を利用すれば、日経BP社が発行している「日経ビジネス」や「日経パソコン」など 30誌以上の雑誌記事からキーワード検索することができ、記事の本文を見ることができます。

「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」では、「週刊東洋経済」「会社四季報」「就職四季報」などを利用することができ、さらにスマートフォン用の画面も準備されています。

新聞記事についても、全国紙各紙のデータベースを利用してキーワード検索ができますので、自分の興味のある時事問題について掘り下げるだけでなく、業界・企業研究にも役立てることが出来ます。

こんなに便利なツールを使わない手はありません。上手に活用して、情報収集・分析を行ってください!

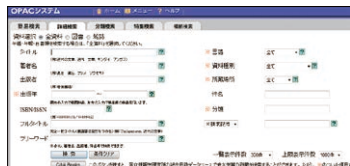
図書館で契約・購入しているデータベース(一部)

雑誌記事	データベース
日経BP記事検索サービス	「日経ビジネス」「日経トプリーダー」「日経コンピュータ」「日経WOMAN」など
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー	「会社四季報」「就職四季報」「週刊東洋経済」「金融ビジネス」「CSR企業総覧」など
新聞	データベース
間蔵II ヨミダス歴史館 毎索 日経テレコン21 中日新聞・東京新聞記事検索サービス	朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 日本経済新聞
その他	データベース
Japan Knowledge	「週刊エコノミスト」「現代用語の基礎知識」「会社四季報」など

OPACを使いこなそう!

愛知大学図書館の蔵書検索システムOPACを使いこなして、情報収集に役立てましょう。例えば、詳細検索の「フリーワード」で「就活」と入力して検索すると、様々な就活本がヒットします。「就職 活動」「業界名称」などでも検索してみてください。

フリーワード欄に「就活」で検索



キャリアをプラス

公務員や教師等を目指す場合、難関な公的試験を突破する必要があります。また、弁護士や税理士、行政書士などのいわゆる「士業」を目指す場合も同様です。

さらには、就活を有利にするため、もしくは就職後のキャリアアップも見据えて、語学関係の資格試験(TOEIC、TOEFL等)や情報技術に関する資格試験などに挑戦する方もいるでしょう。

そのような皆さんのキャリア形成にも、図書館を活用してください。大学図書館はその性質上、資格試験対策の最新の参考書や問題集が多く揃っているとは言い難いのですが、語学の学習資料は豊富に揃っていますし、自治体や教育業界、情報技術に関わる資料はたくさん所蔵しています。

試験対策は、問題に直接取り組むことももちろん大切です。しかし、その背景や実情を把握したうえで問題に取り組むことにより、さらに深い理解に繋がり、合格への道も開き、そして何より実務に役立てることが出来ます。そういった幅広い汎用的な知識は、図書館で所蔵する専門的な資料から得ることができるのです。

図書館では、静かな閲覧席なども利用して、集中して資格試験勉強に取り組むことができます。授業の空き時間も利用しやすい環境ですので、積極的に図書館を利用してください。

多様なキャリア形成に役立つ資料



受験ジャーナル

名図逐刊 Z32:83



公務員革命

彼らの「やる気」が地域社会を変える
太田肇著
豊図文庫 318.3:081
名図開架 318.3:081
ほか



学生と教師のための現代教職論とアカデミックフリーダム

臼井嘉一著
名図開架 374.3:U95

教職課程コーナーのご紹介

名古屋図書館の教職課程コーナーには、実際に高校で使用されている文科省検定済教科書(地歴、公民、英語)、学習指導要領解説が配架され、他にも教職関連図書・雑誌の紹介等が展示されています。教職志望者同士でのディスカッションの素材集め、学習指導要領と教科書の内容がどう関連しているかの確認、教育実習の準備学習等、様々な用途で使える図書・雑誌が揃えられていますので、教職志望者は積極的に活用してください。

